

## シリーズ ザ・看板?

小倉名物”六法焼き”  
…法律家としては捨てて

おけぬネーミング。

六法なんてクソ食らって?はたまたまた無法

(むほう)者を焼き尽くす、正義の味方のシャレものか。

はてさて正体は…!一般的には‘回転まんじゅう’っていうのかなあ?真中にあるこの入ったあれです!



## 今年の北九州はアツイです!

2002年、北九州で大きな団体の全国大会がいくつも予定されています。2月には民医連の全国総会が、7月28日「第48回日本母親大会」が北九州メディアドーム等で、そして「日本のうたごえ祭典」が11月29～12月1日に北九州と福岡の2会

information  
information  
information

新 鮮 情 報

場で。

さまざまな分野で、今年の北九州は熱く活気に満ちた忙しい1年となりそうです。

## ご協力ありがとうございました

東風3号に「中学校給食を実現させる会」の請願署名を同封させていただいたところ、たくさんの方々から、署名並びにご寄付を頂きました。

署名総数は、約47,900名分、カンパは115,177円に上りました。

尚、中学校給食の実現に関しては、11月に議会で審議が行われ、継続審議となりました。

今後とも実現に向け運動を続けてまいりますので、ご支援よろしくお願ひ致します。

## アフガンのちの基金

中村哲医師らを中心にしたペシャワール

ル会では、報復攻撃の続くカブール、ジャラバード等で小麦粉、食用油の緊急援助事業を行っています。基金の振込先は次の通りです。

口座名義 ペシャワール会

郵便振替番号 01790-7-6559

通信欄に「アフガンのちの基金」係と明記ください。

## おまちしています

このコーナーの担当者は休日もバカチョンカメラ片手に城野界隈を徘徊。「これぞ!」という本探しに本屋をはしご。10号発行のあかつきには、「新鮮情報」のコーナーだけで全紙面うめちゃうもんね…なあって。どうぞみな様からも暮らしの知恵やおもしろ情報、お勧めの書籍など、どしどしお寄せ下さい。



## パートさん頑張れ

県議会で力いっぱい頑張ります

福岡県議会議員(日本共産党)

八 記 博 春



私と荒牧先生との出会いは、1980年に24名で安川電機を相手に、「思想・性別による差別是正」の裁判を始めて5年ぐらいたち、大量の証人尋問や陳述書づくりが始まるころでした。

会社は「原告らが仕事ができないから賃金が低い」との主張でしたから、原告がいかに熱心に、誠実に、しかも職場の和を大切にしながら仕事をしているかをまず弁護士にきちんと理解していただくことが重要でした。そのために毎回の打ち合わせは夜遅くまで続きました。

そのころのことを荒牧先生は次のように語っています。「私も夕方6時まで他の仕事をしているから、疲れ果てて原告の話しが全く頭に入らなくなる。でも原告の人達はもったきつい仕事をしているので泣き言は言えない。でも本当を言うと当時はほんとうにつらかった」。

先生は打ち合わせの途中、目はあいているけれども体が硬直していることがしばしばありました。私が「先生、お疲れのようですね」と声をかけますと、先生は笑顔で「いえいえ」と答えていました。私は勝手に「安川裁判以外の仕事が大変なのだろう」と思い込んでいました。しかし、私たちの裁判が一番の負担になっていたのです。こうして皆さんに支えられて、安川裁判は20年半の歳月を経て勝利和

解をすることができました。

その荒牧先生に今回「安川のパートさんの解雇撤回」裁判を担当していただくことになりました。社会的にも「パートはいつ解雇されてもしかたがない」という風潮がありますが、雇用を守る法律がない日本でも、その企業が解雇をしなければたゆまない程の理由がない限り解雇は許されていません。解雇された中には障害者や母子家庭の方が多く、パートでの収入が一家を支えていました。しかも17年10ヶ月も安川でパートとして働いてきたのに、突然の解雇でした。

パートさんは「解雇されてくやしい、だから裁判を決意した。しかし今は、同じような解雇を繰り返させないためにも裁判に勝利したい」と言っています。

私も1歳の時に父を亡くし、母の頑張る姿を見て育ちました。失業率が過去最高を更新する中、今年の3月まで空前の利益をあげていた大企業の乱暴なりストラが、多くの人々の暮らしをうばい、不況をいっそう深刻にしています。このようにときに痛みがわかる弁護士の存在は心強い限りです。

ヨーロッパでは、企業は株主の利益だけでなく、地域や環境や労働者の利益を守るなど社会的な責任を果たしてこそ優良企業として認められます。私も皆さんと力を合わせて、日本でもそのようなことが実現できるよう県議会の場で力いっぱい頑張ります。

## &lt;略歴&gt;

1949年8月生まれ、板櫃中学・小倉工業高校卒、1968年安川電機入社。

1999年4月県議当選。現在県議会商工・生活・労働常任委員、景気・雇用特別委員。

# 団塊の世代!を考える



1000万円宝くじに殺到



石油危機で物不足



東京オリンピック開会式

写真提供=毎日新聞社

## 「団塊の世代」が「断崖の世代」になってしまう?

「団塊の世代」という言葉を知っていますか?いわゆる段階の世代とは、敗戦後のベビーブームの時期に生まれ、現在50歳代前半にあり、人口ピラミッドで突出している世代をいうそうです。

小学校時代は教室が足りず仮設教室があり、給食で脱脂粉乳を鼻をつまんで飲み、白黒テレビでプロレス中継、鉄腕アトム、少年ジェットー等に熱中し、東京オリンピックはなんとかカラーテレビで見た記憶がある。大学では大学紛争のさ中であり(私

の大学受験の年は東大の入試は中止された)、「全共闘」「自己否定」という言葉に象徴される運動があり、「ヒッピー」「長髪」、ベトナム反戦、そしてオイルショック、就職難…それまでの常識や文化を覆すような大きな転換期でもありました。それでも社会にでると日本の高度経済成長を支えてきたのです。

博報堂の生活総合研究所によると、「団塊の世代」はいまや「断崖の世代」なのだそうです。このまま残りの人生を突っ切るか、それとも意を決して新たな自分探しの旅を始めるか。まさに崖っぷちに立たされているということだそうです。

子どもたちも大きくなり、本来はこれからの人生、落ち着く先も見えてきて老後何をしようかと考える時期に、長引く不況の中、将来が見とおせないどころか、現在の生活さえいつ崩れるかわからない不安にさらされています。同期入社が多さ故にリストラの標的にされ、そして年金の改悪、介護費の負担、医療費の負担増など老後の生活は一見真っ暗です。

## 今こそ自信持ち「自分探しの旅」にチャレンジ!

でもこうなったら居直って、自分探しの旅を始めるしかないのかもしれない。日本経済の上昇も下降衰退もすべて団塊の世代の責任なのだ等、団塊の世代に対していろいろと批判は集中している様ですが、この際、会社への忠誠心も家族のこともしばらく置いておいて、原点に戻って考えてみませんか。

団塊の世代の価値観ではまだ戦争と貧乏を引きずっているという批判もあるようですが、それでもいいではないですか。世界からは戦争も貧

困も少しもなくなっていないのですから…。

戦争と貧乏を少しでも体験した世

代だからこそ、平和のための活動も貧乏をなくす努力も他の世代以上にできると思うのです。

## あおい海とあおい空、 原点に戻るのに絶好の環境



沖縄県石垣島(撮影:荒 牧啓一)



## 新年明けましておめでとうございます

■みなさんと一緒に環境  
や社会の問題を考え、紙  
面を作っていきます。

# 東風

●発行日

2002年1月1日

●発行所

小倉東総合法律事務所

●編集者

荒牧啓一

●連絡先

〒802-0062 北九州市小倉北区

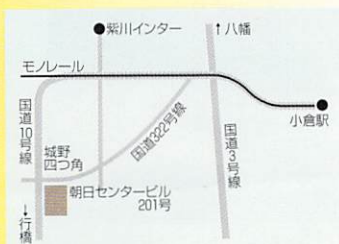
片野新町2丁目12番21号

朝日センタービル2階

TEL093(932)5575

FAX093(932)5600

e-mail:ponpoko@lime.ocn.ne.jp



21世紀の最初の年は、戦争の年となった。

昨年9月11日のニューヨークにおける衝撃的なテロ事件とその報復によるアフガニスタンに対する大規模な空爆、タリバン政権の崩壊後もアメリカは地上部隊を投入し、更に、イラクに対して戦線を拡大しようとしている。

憎むべきテロ行為に対する報復、テロを絶滅する為の空爆という大儀名分の陰で、罪のないアフガニスタンの国民が寒さと飢餓以上の恐怖にさらされている。

アメリカは「自由と民主主義の国」と言われている。しかしその民主主義も今回のテロ事件の様に衝撃的で悲惨な事件が起きると、国民一丸、反対意見は許さないという状況になる。議会で報復爆撃に反対したのはたったひとりであり、反戦を訴えた少女を停学処分にした学校の措置を裁判所も支持してしまった。

「おそらく縷々たる罪なき人々の屍の山を見た時、夢見の悪い後悔と痛みを覚えるのは、報復者その人であろう。

瀕死の小国に世界中の超大国が束になり、果たして何を守ろうとするのか。私の素朴な疑問である」(中村哲「医者井戸を掘る」—その後米テロ事件そして報復より)。

日本は今回のテロ事件に対して「ショーザフラッグ」を口実に今度こそ目に見える貢献をと、国会で十分な論議をすることもなく世界に誇るべき平和憲法をなし崩しに形骸化するテロ対策特措法を成立させ、海上自衛隊による米軍支援活動を行ってる。これは戦後初めての「参戦」である。「平和」は座って待つだけでは実現できず、その為に闘わなければならないとしても、日本の役割はもっと別にあるはずである。もっと冷静に考えるべきである。

アフガニスタンでは未曾有の早魃と爆撃により数百万の餓死者が予想されると言われている。中村哲医師によると2000円で一家族10人が1ヶ月生活できる小麦粉、食用油が買えるとのことである。まず、1人1人が自分でやれることから始めてみませんか。21世紀を「平和で豊かな世紀」とするために。